

序論

制限的修飾節とは文の中に入って、他の情報を加えて、前に言った主な名詞を制限する節である。制限的修飾節も関係代名詞がない。(久野、1995 : 234)

石橋 (1973:172) は関係節についてこのように論じる。

関係節は名詞の修飾構造の一つ＝形容詞・属格名詞句と同じ働きをしていると考えられる
形容詞・属格名詞句が名詞の前後に現れることと関係節が名詞の前後に現れることとは相関関係がある。(石橋幸太郎, 1973:172).

関係節は形容詞、名詞、副詞などに言を加える。文を展開するの句も加える事ができる。

日本語の関係節は二つに分ける、制限的修飾節と非制限的修飾節。

坂本 (2008:122) は意見を論じる。

日本語や中国語では二種類の関係節構造に音韻的な差が見られないため、制限的解釈か否かの判断は音声では決まらず、文脈が必要となる。

その理論より、制限的修飾節と非制限的修飾節は音韻学で区別して、音調に基づく。それと統語論で文がある意味は大切な役目になる。制限的修飾節と非制限的修飾節は文の意味が限るかどうかよく判る。

日本語の制限的修飾節の使用で面白い部分があるから、このテーマを選ぶことになった。制限的修飾節は文を展開するだけではなく、文の意味も展開する。この論文の目的は日本語の文における複文の有無として制

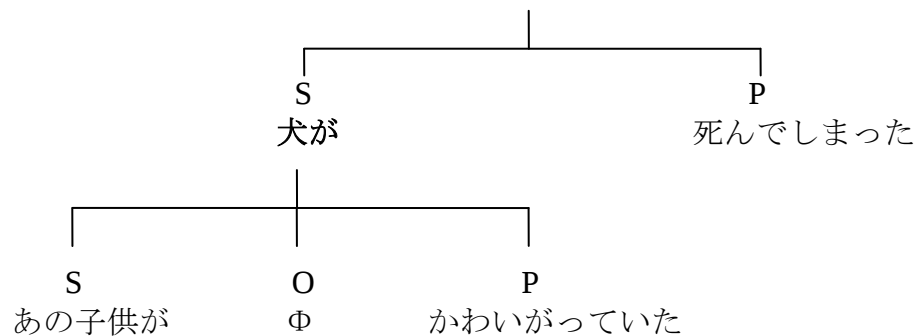
限的修飾節を分析し、制限的修飾節でどの統語論の作用が展開できるかを説明する。

敏裕 (2005:11)と久野 (1995, 234-240) は制限的修飾節三つに分けると論じる。名詞修飾節と関係副詞節と関係形容詞節 である。

本論

名詞修飾節

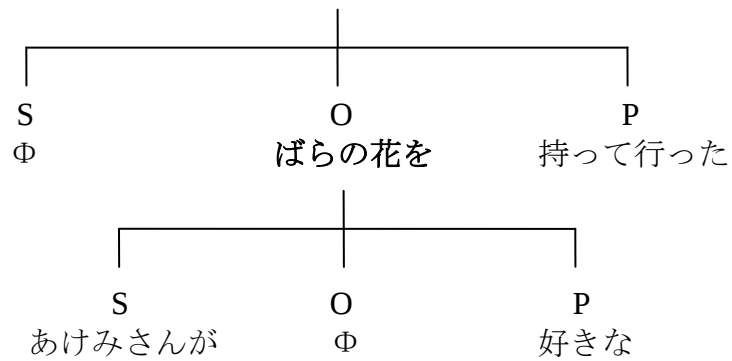
1. あの子供がかわいがっていた犬が死んでしまった。 (MY, 1976:298)



上の一番データでは、「が」という助詞は「の」助詞と同じ機能であって、「持つ」という意味である。「犬が死んでしまった」は主文である。主語である「犬」は「あの子供がかわいがっていた」節に展開された。従属語では「あの子供が」は主語になって、「かわいがっていた」は述語になる。「犬」は主文である主語より従属語の対象語に変わる。「あの子供がかわいがっていた犬」という節、死んだ犬は従属語の主語「あの子供」が飼っていた犬という意味を限る。

関係形容詞節

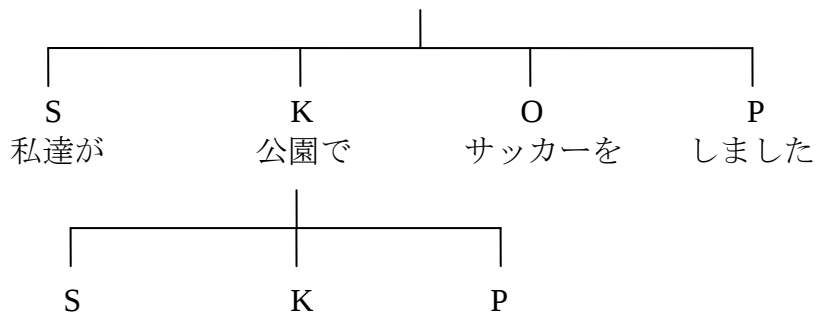
2. あけみさんが好きなばらの花を持って行った。(MN, 1998:151)



二番のデータは形容詞により制限的修飾節である。主文は消えた主語の「私は」、対象語の「ばらの花」、述語の「ばらの花」である。対象語の「ばらの花」は「あけみさんが好きな」という節を加える事で展開する。その加えた節は前の主文の従属語になる。従属語では、「あけみさん」は主語で、「ばらの花」は対象語で、「好きな」は述語である。上のデータは（私は）あけみさんが好きなばらの花を持って行ったという意味である。

関係副詞節

3. 私達が私の家の近くにある公園でサッカーをしました。(MS, 2011:8)



Φ 私の家の近くに ある

「私達が公園でサッカーをしました」は主文である。「私達が」は主語で、「公園で」は場所の状況語で、「サッカー」は対象語で、「しました」は述語である。「公園で」である 場所の状況語は「私の家の近くにある」という制限的修飾節により展開される。従属語では「私の家の近くに」は主語で、「ある」は述語である。

結論

1. 制限的修飾節とは文の中に入って、他の情報を加えて、前に言った主な名詞を制限する節である。日本語の制限的修飾節では、インドネシア語と英語みたいに修飾語がありません。日本語の制限的修飾節は言だけじゃなく、文の意味を展開するのも可能である。
2. 制限的修飾節は三つに分ける。名詞修飾節と関係形容詞節と関係副詞節 である。名詞修飾節は名詞の拡大の制限的修飾節。関係形容詞節は形容詞に文を拡大するの制限的修飾節。で、関係副詞節は文である修飾語の拡大の制限的修飾節。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR	i
DAFTAR ISI	iv
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah	1
1.2 Rumusan Masalah	9
1.3 Tujuan Penelitian	9
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian	9
1.5 Organisasi Penulisan	11
BAB II KAJIAN TEORI	12
2.1 Sintaksis	12
2.1.1 Kata Sebagai Satuan Sintaksis	14
2.1.2 Frase	15
2.1.3 Klausa	17
2.1.3.1 名詞節 <i>meishisetsu</i>	19
2.1.3.2 形容詞節 <i>keiyoushisetsu</i>	20
2.1.3.3 副詞節 <i>fukushisetsu</i>	20
2.1.4 Kalimat	21
2.1.4.1 短文 <i>tanbun</i>	22
2.1.4.2 複文 <i>fukubun</i>	23
2.2 Klausa Relatif Restriktif	25

BAB III	ANALISIS DATA	31
3.1	名詞修飾節 <i>meishishuushokusetsu</i>	33
3.2	關係形容詞節 <i>kankeiyoushisetsu</i>	43
3.3	關係副詞節 <i>kankeifukushisetsu</i>	47
BAB IV	KESIMPULAN	50
	DAFTAR PUSTAKA	52
	LAMPIRAN I	v
	LAMPIRAN II	xiv
	SINOPSIS	xxiv
	RIWAYAT HIDUP	xxviii